



ごあいさつ

社会福祉法人 美熊野福祉会
理事長 松村 元弘

皆様方には、平素より私ども〔社会福祉法人 美熊野福祉会〕に対しまして温かいご理解と多大なご支援ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

美熊野福祉会は、障害児者の家族やボランティアの協力のもと、昭和63年（1988）熊野川町赤木に「杉の郷」を開所して以来、平成8年（1996）新宮市高田に「杉の郷えぼし寮」、平成15年（2003）には、新宮市の医療福祉ゾーンである蜂伏地区に「障害児者支援センター虹」を、また平成18年（2006）には、同じ敷地内に「障害児者相談センターゆず」を開設し、新宮東牟婁地域における障害のある方々の福祉の向上を願って事業を発展させてまいりました。4つの施設では、100人を超える職員が、法人の指針である〔4つの目標と5つの約束〕を遵守し、利用者の皆様が日々の安らぎと生きがいを得られるような施設となるよう、懸命に取り組んでおります。

しかし、最近の障害者福祉をとりまく環境は、より厳しい課題に直面する時代となってきており、昨年の4月には、地域生活への移行や就労支援の強化等、障害者が、地域で普通に安心して暮らせる社会の構築を目指すという崇高な理念のもとに「障害者自立支援法」が施行されました。この新法の理念そのものは、素晴らしいと思われませんが、応能負担制度から応益負担制度への転換による利用者や家族の負担増、また、施設にとっても支援費の日割り計算による運営費の減少というたいへん厳しい問題がでてきております。私どもはこのことを充分認識し、「人間尊重」と「利用者本位」の原則にのっとり、障害のある方々がそれぞれに適したサービスを受けながら、安心して生き生きと暮らすことのできる施設となるよう、役職員が一丸となって懸命に取り組んで参りたいと思います。

今後とも、皆様方の絶大なるご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます、巻頭の挨拶とさせていただきます。

通所更生部より



通所更生部も、おかげさまで開所して5年目を迎えました。利用者の皆様、ご家族、近隣住民の方々に支えられて何とかここまでやってこれたという思いです。

今年度から土曜日営業が始まりました。土曜日だからこそのような活動と思い、「みくまの養護学校」のグラウンドをお借りしてソフトボールをはじめました。最初は、飛んでくるボールをうまく捕ることができなかつたり、バットにボールがあたらなかつたりで散々でしたが、練習を重ねるにつれ、どんどん上達し、今では利用者と職員でチームを結成することができるようになりました。細かなルールは気にせず、とにかく楽しんでいこうというチームです。なにより利用者の方々が喜んでくれており、楽しそうな笑顔がとても嬉しい事です。いつかこの地域でソフトボールの大会をすることができればいいなと思っています。（支援員 清水）



私たち、通所更生部Bチームは、利用者6名の少数精鋭部隊です。

なかなか全体で活動するのが難しいメンバーで、個別に活動することが多いのですが、毎週木曜日には、高田の「いこらてい」に全員でかけています。前日に買っておいした食材を持ち込み、みんなで調理し、すぐそばを流れる高田川のせせらぎを聴きながら、おいしい昼ごはんを楽しんでいます。

「いこらてい」は、街中の喧騒を離れた場所なので、みんなの表情はとても穏やかで、それぞれがすごくいい顔をしています。

これからも、みんなのそういう“いい表情”を大切にしながら過ごしていければいいなあと思います。（支援員 中村）



重症心身障害児者通園事業（B型）「ひだまり」より

虹へ4月に異動になってからはや4ヶ月。何もかもが初めてのことばかりで、とまどう事も多いのですが、利用者の皆様の笑顔に励まされ、毎日頑張っています。

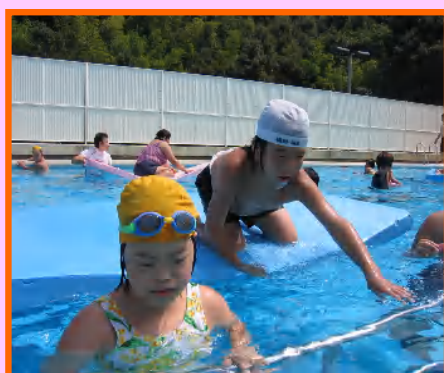
「ひだまり」の活動としては、外に出て散歩などの活動を行いたいのですが、何しろ今年のこの暑さ！！ 外に出ることができず、今は室内での活動となっています。昼食は、普通、きざみ、ペーストの3種類の食事を「ひだまり」で摂っていますが、全員が終了するまで相当な時間がかかります。また、体調等も急変することが多いので、その前兆を見逃さないよう十二分に気を付けています。



児童の部より

みんなで一緒になっての活動は、年齢も個性もそれぞれ違うので難しいのですが、興味や関心のある活動から取り組んでいくと、「ひとつの輪」ができてくるので不思議です。その輪の中に笑顔がいっぱいになってくれば最

元気いっぱい夏休みは、朝から夕方まで、子どもたちと一緒に笑ったり、怒ったり、泣いたり職員も元気をもらいながら、事故もなく無事夏休みを終了することができました。（支援員 馳平）



中央競馬馬主社会福祉財団助成事業完了のお知らせ

このたび財団法人中央競馬馬主社会福祉財団から、平成18年度助成金の交付を受け、下記の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、財団法人中央競馬馬主社会福祉財団をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

記

- 1. 事業名 送迎用車輛整備助成事業
- 1. 助成金額 2, 260, 000円
- 1. 完了年月日 平成19年3月19日

